



2004年8月26日

～第37回「国際化学オリンピック」(台湾・台北大会)日本代表も決定!!～ 「全国高校化学グランプリ2004」各賞受賞者決まる!

「夢・化学-21」委員会
社団法人 日本化学会
社団法人 化学工学会
社団法人 新化学発展協会
社団法人 日本化学工業協会

「夢・化学-21」委員会((社)日本化学会、(社)化学工学会、(社)新化学発展協会、(社)日本化学工業協会)と日本化学会化学教育協議会が主催する「全国高校化学グランプリ2004」(通称:化学の甲子園)の二次選考(実技試験と結果レポート提出)が8月21日(土)、東京農工大学小金井キャンパス(東京都小金井市)にて行われ、優秀賞および各賞の受賞者が決定いたしました。

全国から集まった高校生が筆記試験や実技試験を通して互いの能力を出し合う「全国高校化学グランプリ2004」。6回目の開催となる今年は、過去最高の1,201人の高校生が参加し、7月24日(土)に全国25ヵ所の会場で一斉に一次選考(筆記試験)が実施されました。そしてこのほど行われた二次選考では、一次選考を通過した60人がグランプリ(優秀賞)の座をかけて実験問題に挑みました。

その結果みごと川崎 瑛生さん(東京都、私立武蔵高等学校2年)、鹿又 喬平さん(東京都、私立創価高等学校2年)、藤田 健人さん(兵庫県、私立白陵高等学校3年)、末弘 祐基さん(東京都、国立筑波大学附属駒場高等学校3年)、澄野 慎二さん(愛知県、愛知県立時習館高等学校3年)、松岡 広さん(東京都、国立筑波大学附属駒場高等学校3年)の6人がグランプリに選ばれました。また、グランプリのほか、14人が金賞、21人が銀賞、19人が銅賞に選ばれました。

さらに、高校2年生以下の参加者の中から、成績上位4人を国際化学オリンピック代表に選出。みごと川崎 瑛生さん(東京都、私立武蔵高校2年)、鹿又 喬平さん(東京都、私立創価高等学校2年)、今村 麻子さん(兵庫県、私立神戸女学院高等学部1年)、永田 利明さん(東京都、私立開成高等学校1年)がオリンピック代表に選ばれました。代表に選ばれた4人は、2005年7月に台湾の台北で開かれる第37回「国際化学オリンピック」に日本代表として出場いたします。なお、女性の代表は日本参加3回目にして初めてであり、また、今年行われた国際化学オリンピック(ドイツ・キール大会)にて金メダルを獲得した川崎君は2年連続の代表入りとなります。

各賞受賞者とオリンピック代表には、2004年11月中旬に行われる「全国高校化学グランプリ2004」表彰式にて、賞状などが贈られます。

本グランプリは、化学の啓発と化学産業の社会への貢献の理解促進を図る「夢・化学-21」キャンペーン活動の一環として、国際的にも通用する若い化学者を育てることを目的に1999年より開催しております。昨今、若者の“理科離れ”が深刻化する中、本グランプリにおいては、参加生徒数が年々増えており、このことは若者の化学に対する関心の表れとして受け止めています。「夢・化学-21」委員会では、今後ともこういった若者向けの教育支援プログラムを実施し、日本の化学教育レベルの向上を目指していきたいと思っております。

この件に関する媒体からのお問い合わせ先

「夢・化学-21」委員会事務局(日本化学工業協会内) / 青山、北村 TEL03 3297 2555 / FAX 同 2615
日本化学会 / 小林、田中、河瀬 TEL03 3292 6164 / FAX 同 6318

ホームページ <http://www.kagaku21.net/>

< 参考資料 >

各賞受賞者 は、オリンピック代表生徒。

優秀賞(グランプリ)(6人)			
川崎 瑛生	東京都	私立武蔵高等学校	2年
鹿又 喬平	東京都	私立創価高等学校	2年
藤田 健人	兵庫県	私立白陵高等学校	3年
末弘 祐基	東京都	国立筑波大学附属駒場高等学校	3年
澄野 慎二	愛知県	県立時習館高等学校	3年
松岡 広	東京都	国立筑波大学附属駒場高等学校	3年

金賞(14人)			
小塚 星一郎	愛知県	県立一宮高等学校	3年
堀川 透理	大阪府	私立大阪星光学院高等学校	3年
坂上 智洋	大阪府	私立大阪星光学院高等学校	3年
高橋 講平	東京都	私立麻布高等学校	3年
三浦 瞬	北海道	道立札幌北高等学校	3年
金城 慶之	沖縄県	私立昭和薬科大学附属高等学校	3年
松崎 維信	福岡県	私立久留米大学附設高等学校	3年
村田 元気	富山県	県立高岡高等学校	3年
川口 雄輝	愛媛県	県立松山東高等学校	3年
牛島 正太郎	愛知県	名古屋市立向陽高等学校	3年
佐野 公威	愛知県	県立岡崎高等学校	3年
本山 裕一	神奈川県	私立栄光学園高等学校	3年
飯田 将元	東京都	私立巣鴨高等学校	3年
武田 弘尚	山形県	県立山形東高等学校	3年

銀賞(21人)			
由上 優太郎	長野県	県立松本深志高等学校	3年
今村 麻子	兵庫県	私立神戸女学院高等学部	1年
富里 周太	沖縄県	私立昭和薬科大学附属高等学校	3年
永田 利明	東京都	私立開成高等学校	1年
若月 琢馬	山梨県	県立甲府南高等学校	3年
樽本 祥憲	大阪府	私立大阪星光学院高等学校	3年
岩田 宏輝	岐阜県	県立岐山高等学校	2年
五十部 学	神奈川県	私立栄光学園高等学校	1年
川添 安之	宮崎県	県立宮崎南高等学校	3年
枚原 光太郎	広島県	県立広島国泰寺高等学校	3年
平木 秀輔	兵庫県	私立灘高等学校	2年
宇治 広隆	大阪府	私立大阪星光学院高等学校	3年
赤穂 吏映	大阪府	国立大阪教育大学付属高等学校池田校舎	2年
小室 吉輝	大阪府	私立大阪星光学院高等学校	2年
松井 裕太	富山県	県立高岡高等学校	2年
村島 大我	東京都	国立筑波大学附属駒場高等学校	3年
柴垣 修志	鹿児島県	私立志学館高等部	3年
坪井 達久	東京都	国立筑波大学附属駒場高等学校	3年
箱江 史吉	富山県	県立高岡高等学校	3年
山崎 史暁	福岡県	私立久留米大学附設高等学校	3年
山田 諒介	滋賀県	県立米原高等学校	3年

銅賞(19人)			
北本 雄祐	石川県	県立小松高等学校	3年
目黒 裕和	宮城県	県立仙台第一高等学校	3年
北野 嗣門	石川県	国立金沢大学教育学部附属高等学校	3年
山口 祐	愛知県	私立東海高等学校	3年
山室 行大	東京都	私立開成高等学校	2年
柴田 慶詩郎	北海道	道立旭川東高等学校	3年
水嶋 優	愛知県	県立時習館高等学校	3年
涌田 寛之	大阪府	私立大阪星光学院高等学校	3年
福居 文崇	北海道	私立北嶺高等学校	2年
尾崎 順一	石川県	県立金沢泉丘高等学校	2年
村松 圭介	愛知県	県立岡崎高等学校	3年
軽部 可奈絵	埼玉県	県立浦和第一女子高等学校	2年
中島 孝裕	広島県	私立広島学院高等学校	3年
吉田 寿一郎	兵庫県	私立白陵高等学校	3年
佐藤 謙一郎	福島県	県立安積高等学校	3年
松尾 貞茂	大阪府	私立大阪星光学院高等学校	3年
山肩 正輝	兵庫県	私立灘高等学校	2年
棚田 啓介	福島県	県立高岡高等学校	3年
小坂 圭史	兵庫県	私立白陵高等学校	3年

【国際化学オリンピック (IChO = International Chemistry Olympiad) とは】

1968年に東欧3ヵ国(ハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランド)が始めた高校生の学力試験から発展した、1年に1度開催される「化学」の国際大会。日本で有名な「数学オリンピック」も同じ3ヵ国から始まった。1984年にアメリカ合衆国が参加して以来急激に参加国が増え、2001年のムンバイ大会(インド)では54ヵ国、2002年の Groningen大会(オランダ)では57ヵ国、昨年行われたアテネ大会(ギリシャ)では59ヵ国、今年ドイツで行われた第36回国際化学オリンピック(キール大会)にも、61ヵ国から234人の高校生が参加した。

大会は、通常、毎年7月初旬から約10日間開かれ、それぞれ5時間に及ぶ実験問題(Experimental Examination)と筆記問題(Theoretical Examination)が出題され個人戦として競われる。成績優秀者には金メダル(参加者の1割)、銀メダル(同2割)、銅メダル(同3割)がそれぞれ贈られる。

なお、日本は昨年から参加し、参加2回目の今年7月に行われたドイツ・キール大会では、本グランプリ参加者から選ばれた日本代表生徒のうち、1人が金メダルを獲得、他3人も銅メダルを獲得し、4人全員がメダルを獲得するという快挙を成し遂げました。